



ヤマト・インダストリー株式会社

2024年3月期 第2四半期決算説明会

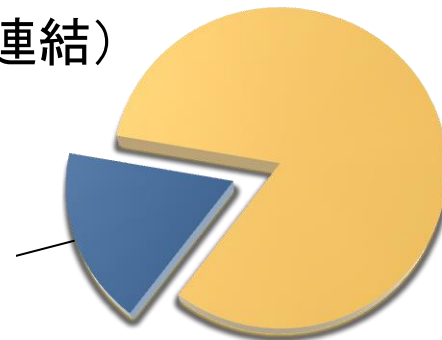
2023年12月14日

会社概要

ヤマト・インダストリー株式会社

(英語表記 YAMATO INDUSTRY Co., LTD.)

- 創業 1937年(昭和12年) 2月11日
- 資本金 1,029,998,772円
- 上場市場 東証スタンダード市場
コード番号7886 (1995年 JASDAQ店頭登録)
- 代表者 重岡 幹生
- 本店所在地 埼玉県川越市古谷上4274
- 従業員数 86名(単体)／1004名(連結)
(2023年3月末現在)
- 主な事業 合成樹脂事業 82.5%
物流機器事業 17.5%



(第2四半期 連結売上高比)

既存事業の紹介-セグメント別

合成樹脂事業

- 樹脂事業ユニット
- SP・真空成型事業ユニット

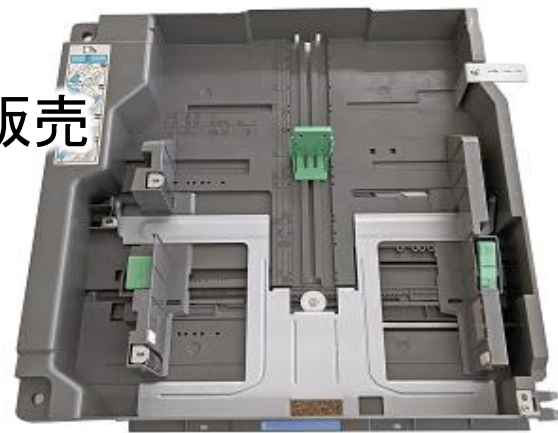
物流機器事業

- 物流機器事業ユニット

事業紹介-樹脂事業ユニット

射出成形を中心とした OA機器、住宅設備、
自動車関連部品などの樹脂成形製品の製造・販売

製法 (MuCell成形やGas成形等) や技術、素材に通じ、
コンカレント活動を通して、お客様製品の
品質向上・短納期に寄与しています



OA機器部品(成形)・組立品



自動車部品



自動車部品
(MuCell成形品)



OA機器部品



住宅設備

事業紹介-樹脂事業ユニット

コンカレント・エンジニアリングとは

= お客様の製品開発の早期段階から『共同で』設計に参加

開発設計段階で 製造に必要な要件を反映できる
当社の金型・成形技術をフル活用して推進できる

大きな手戻りの減少
開発時間と費用の浪費を防ぐ

金型の短納期化
販売と生産の垂直立上げ
製造原価の低減

お客様
製品プラン

型仕様取り決め

生産モデル作成

金型設計

樹脂充填解析

金型冷却解析

金型強度解析

金型作成

成形条件検討

金型・成形品確認

金型動作確認

製品測定・評価

量産

海外対応

事業紹介-SP・真空成型事業ユニット

SP事業

看板を中心とした、什器・ディスプレイの企画、設計、製造

真空成型事業

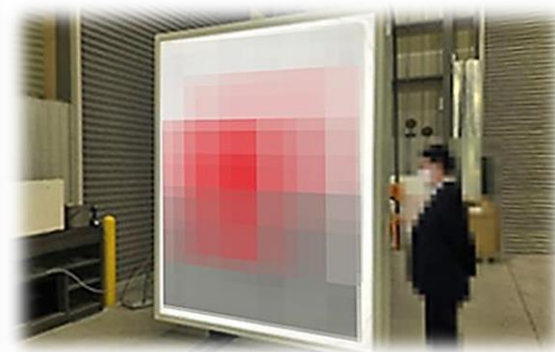
真空成型を用いた産業資材の企画、設計、製造



看板



店舗看板や内部什器



大型看板

看板は企画から製造、施工までワンストップ対応

3100 * 2100 * 300mm の大型真空成形機を保有し、右写真の様な大型看板も製作可能です
大型から薄物まであらゆる真空成型でお客様要望に応じてゆきます

事業紹介-SP・真空成型事業ユニット



看板製作・施工



環境対応製品(模造竹)



構内ロケーション・注意喚起サイン

事業紹介-物流機器事業ユニット

ロールボックスパレット(カゴ台車)を日本で最初に製造・販売
50年以上の実績があり、搬送・移動・保管・陳列など多用途に対応する製品を取り扱う

コンビテナー



床:樹脂製 床:スチール製

落下防止対策



●観音扉付コンビテナー



床:樹脂製 床:スチール製

●折りたたみ格子付コンビテナー



●前格子



●ゴムベルト



カート

●スルーテナー (6輪台車)



●ミニスルーテナー (4輪台車)



メンテナンスサービス



地球にやさしいリサイクルシステム

セキュリティ対策



●セキュリティ台車



錆び防止対策



●溶融亜鉛メッキ製



●ステンレス製



レンタル商品




騒音対策



●静kago車



静音キャスター



樹脂ジョイント



雨・埃対策

●防塵カバー




温度管理

●クールカバー




ヤマトの製品は、環境影響に配慮した
軽量・安全な設計も特徴です

事業紹介-物流機器事業ユニット

かさ上げH2000 コンビテナー



より多くの積荷を積載したい顧客の要望に応えるために

- 積載量を20%アップ
上部スペースの有効活用に
- 短納期 & 低価格での提供を実現

競合他社にはないラインナップ

事業紹介-物流機器事業ユニット

荷役負担軽減・衛生環境改善の為

アルミを主材料にした
「アルミ製ロールコンビテナー」

アルミは、従来のスチールと比較して
軽く錆びにくい

夜間・早朝配送に伴う騒音に配慮

床板、格子部・ジョイント部に
樹脂パーツを使用した「静KAGO車」

騒音環境基準値対応品(夜間45デシベル以下)
他社に無い静かさを実現



跳ね上げ中間棚付コンビテナー



常時一体 外さず使える中間棚。

- 取り外す事による中間棚の紛失や都度の取り付け・取り外しの手間を削減
- 跳ね上げたままでのネスティングも可能

競合他社にはないラインナップ

(ネスティング状態)

事業紹介-物流機器事業ユニット

床板共通スチールパレットコンビテナー



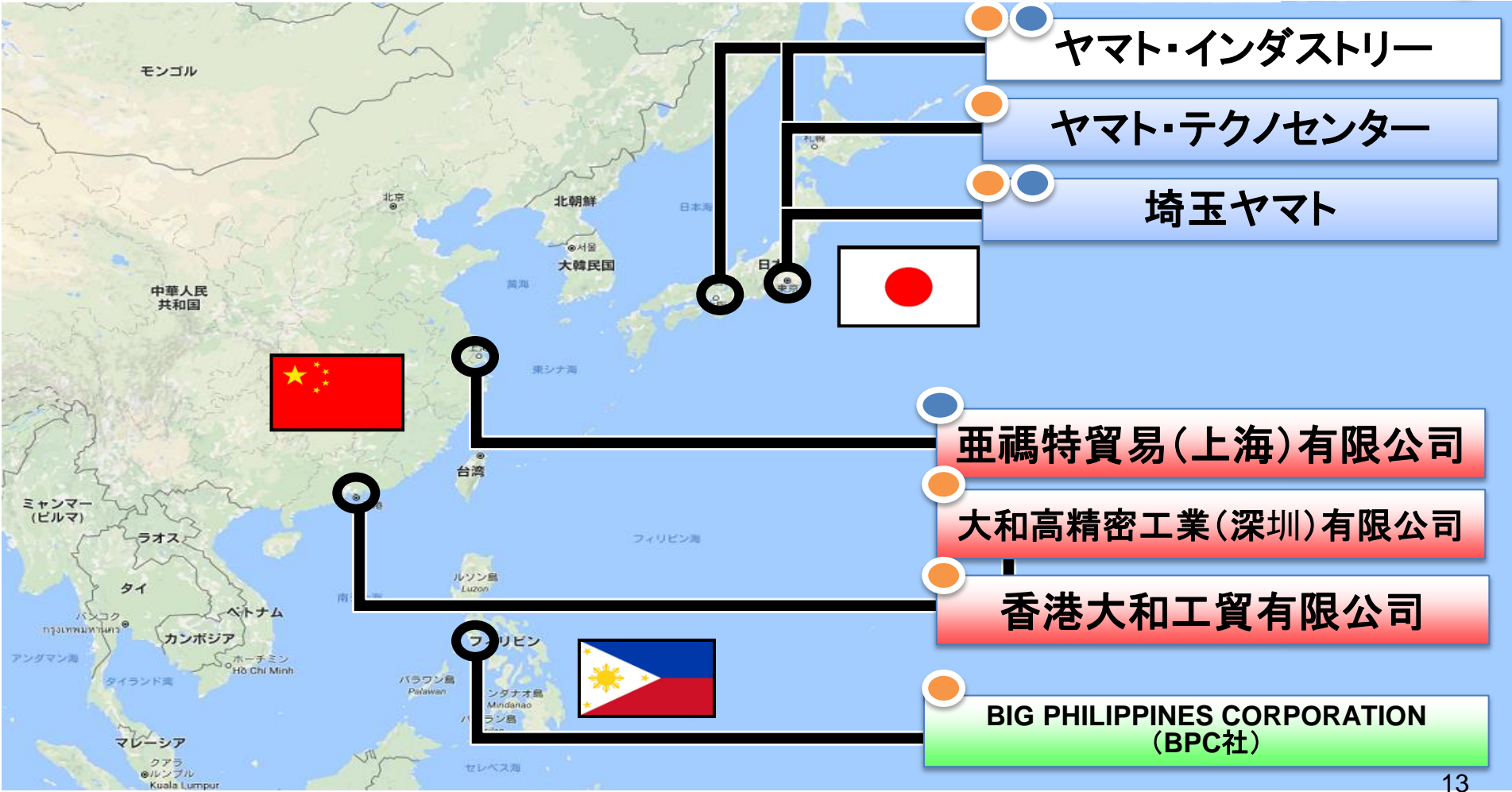
床板の上げ下げワンタッチ操作。

- 片手でロックハンドル解除
- 安全性向上として
床板倒れ止めロックピン付(※1)
- 樹脂製床板と同サイズにし、
在庫負担軽減及びラインナップ増



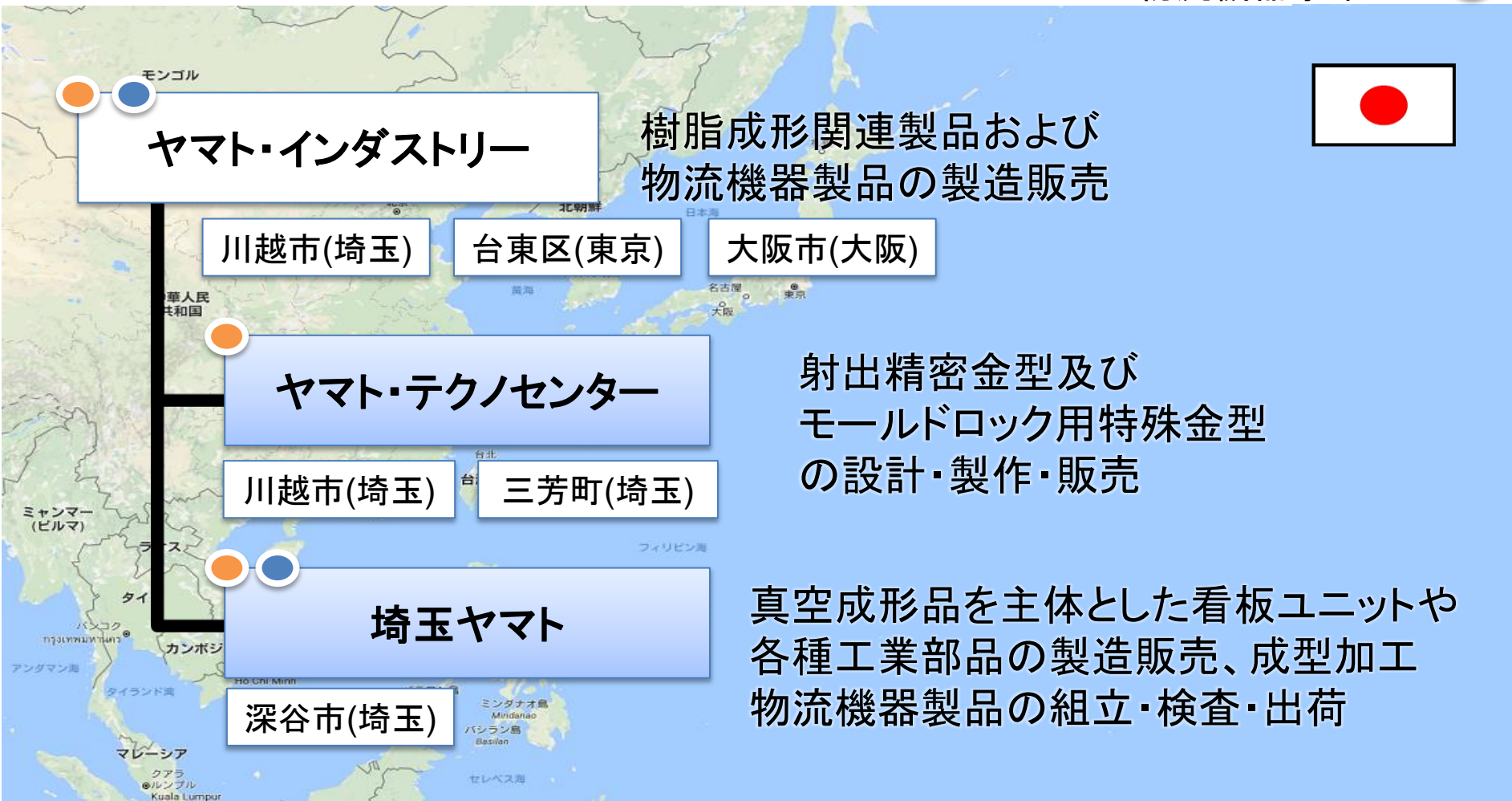
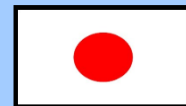
ヤマトグループ構成

合成樹脂事業 --- ●
物流機器事業 --- ●





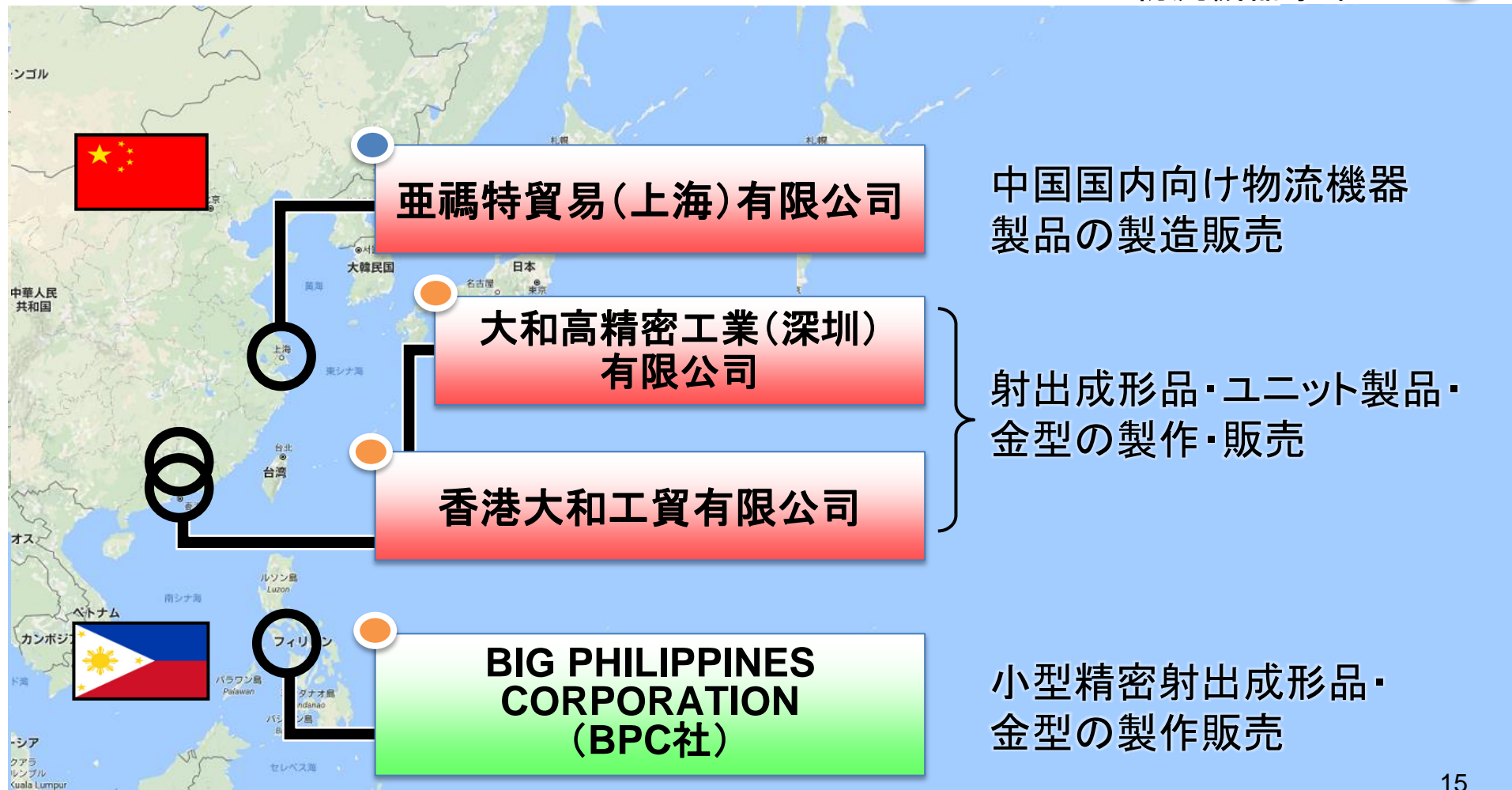
ヤマトグループ構成

合成樹脂事業 --- 
物流機器事業 --- 



ヤマトグループ構成

合成樹脂事業 --- 
物流機器事業 --- 



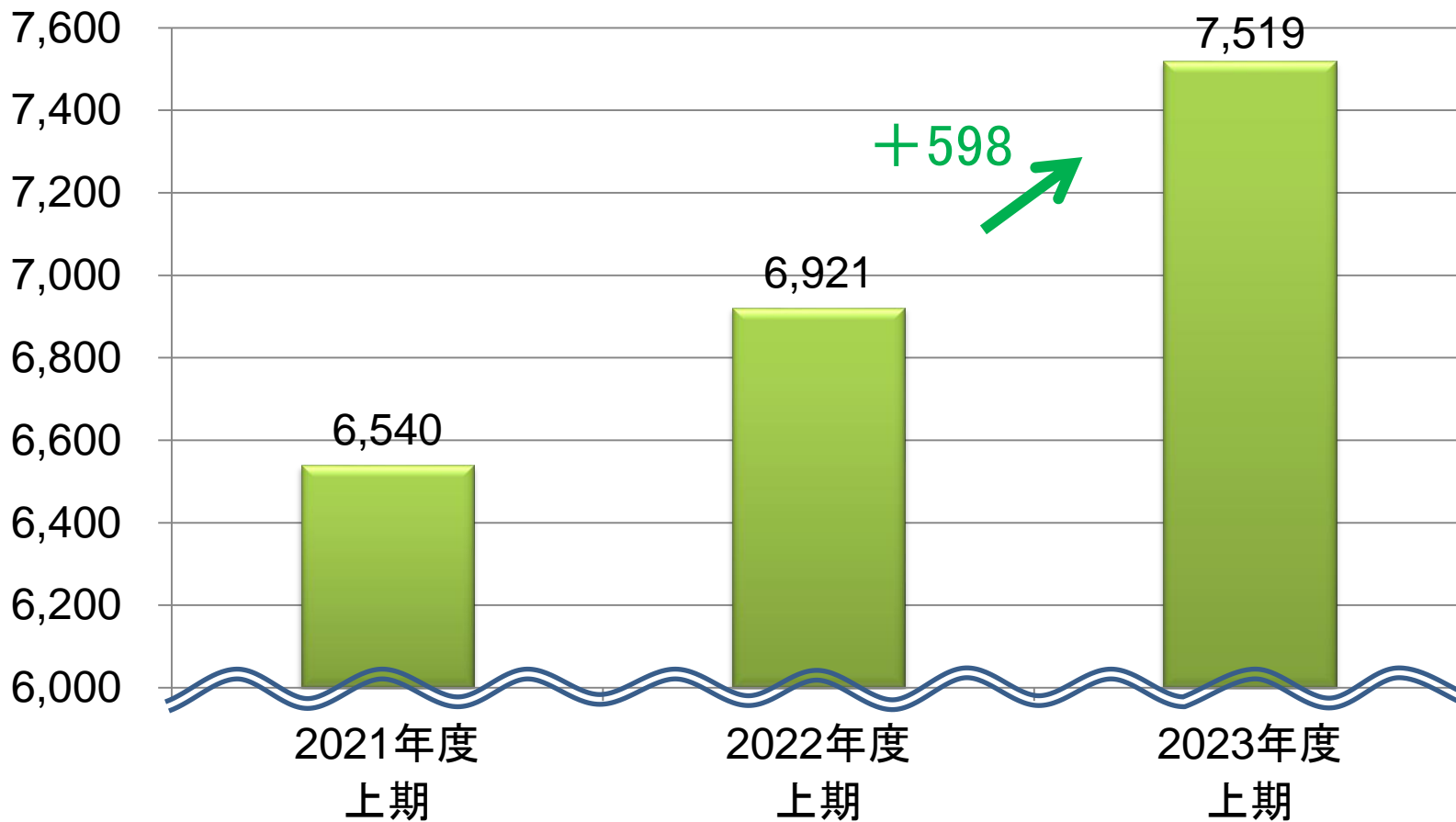
2024年3月期 第2四半期 決算概要

第2四半期累計期間 PL業績

単位:百万円

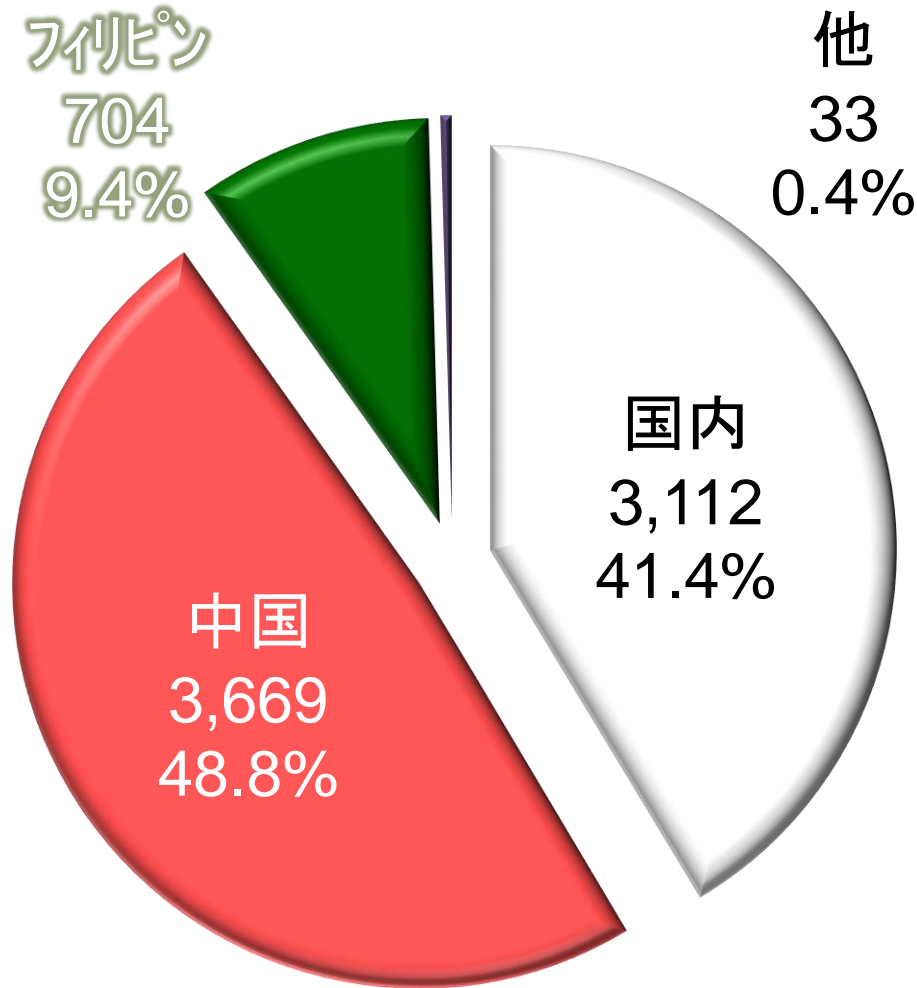
	前期	当期	前期比
売上高	6,921	7,519	+598
(合成樹脂成形関連事業)	(6,163)	(6,201)	
(物流機器関連事業)	(758)	(1,318)	
売上総利益	668	671	+3
営業損益	△46	△102	-56
経常損益	△116	△177	-61
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△148	△185	-37

単位：百万円



単位：百万円

地域別売上比率

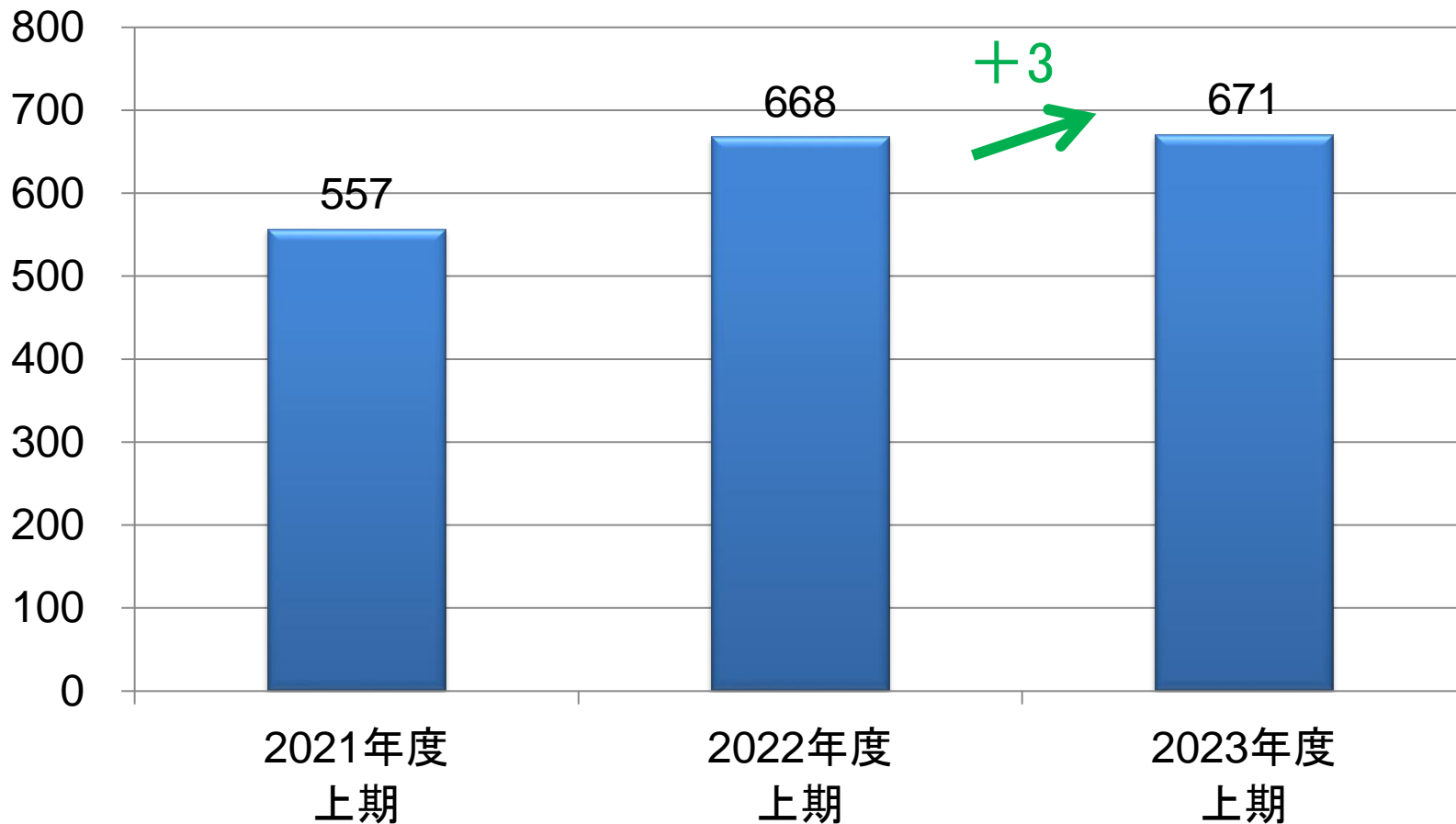


計 7,519

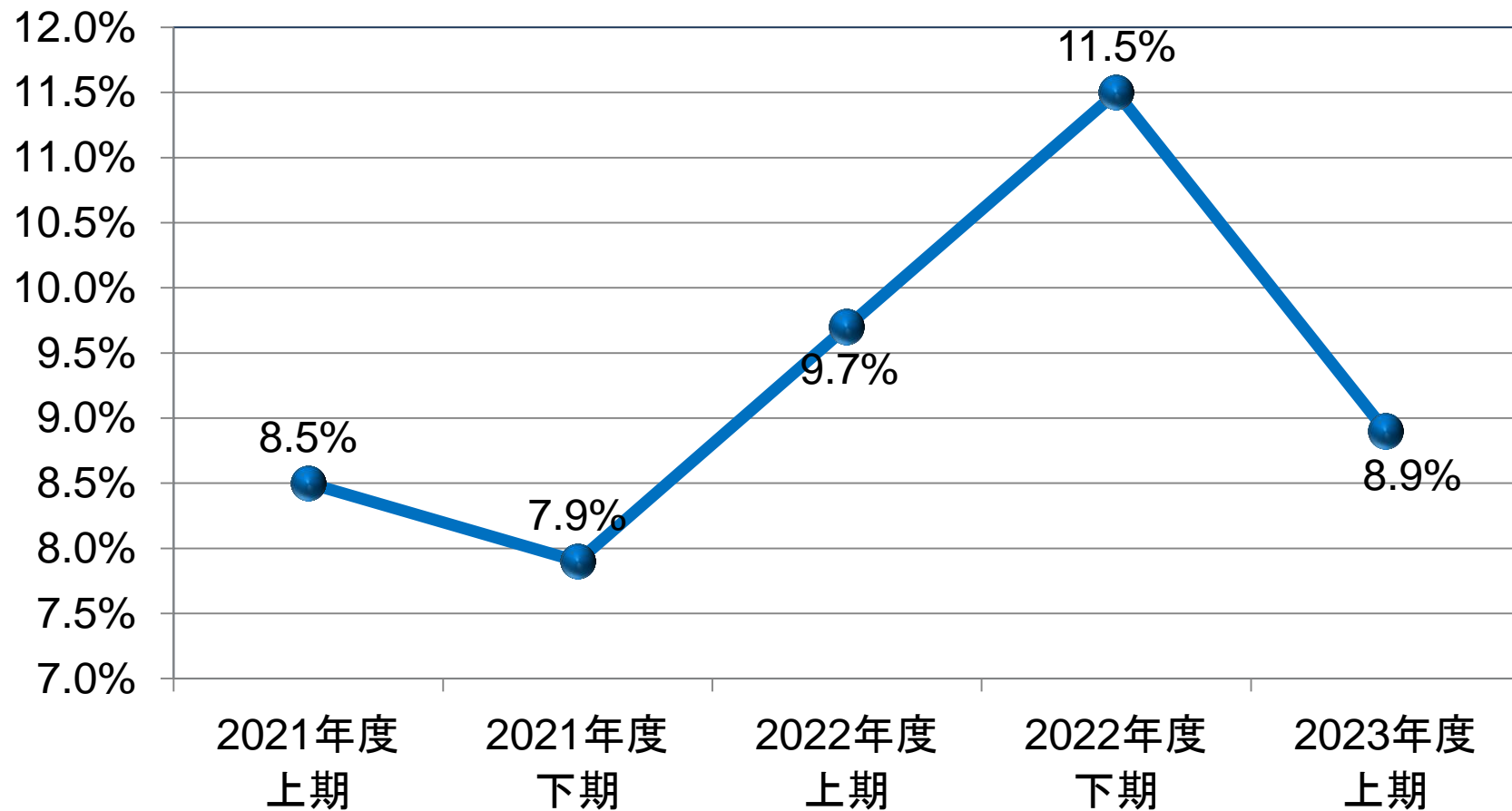
売上総利益推移

第2四半期累計期間

単位：百万円

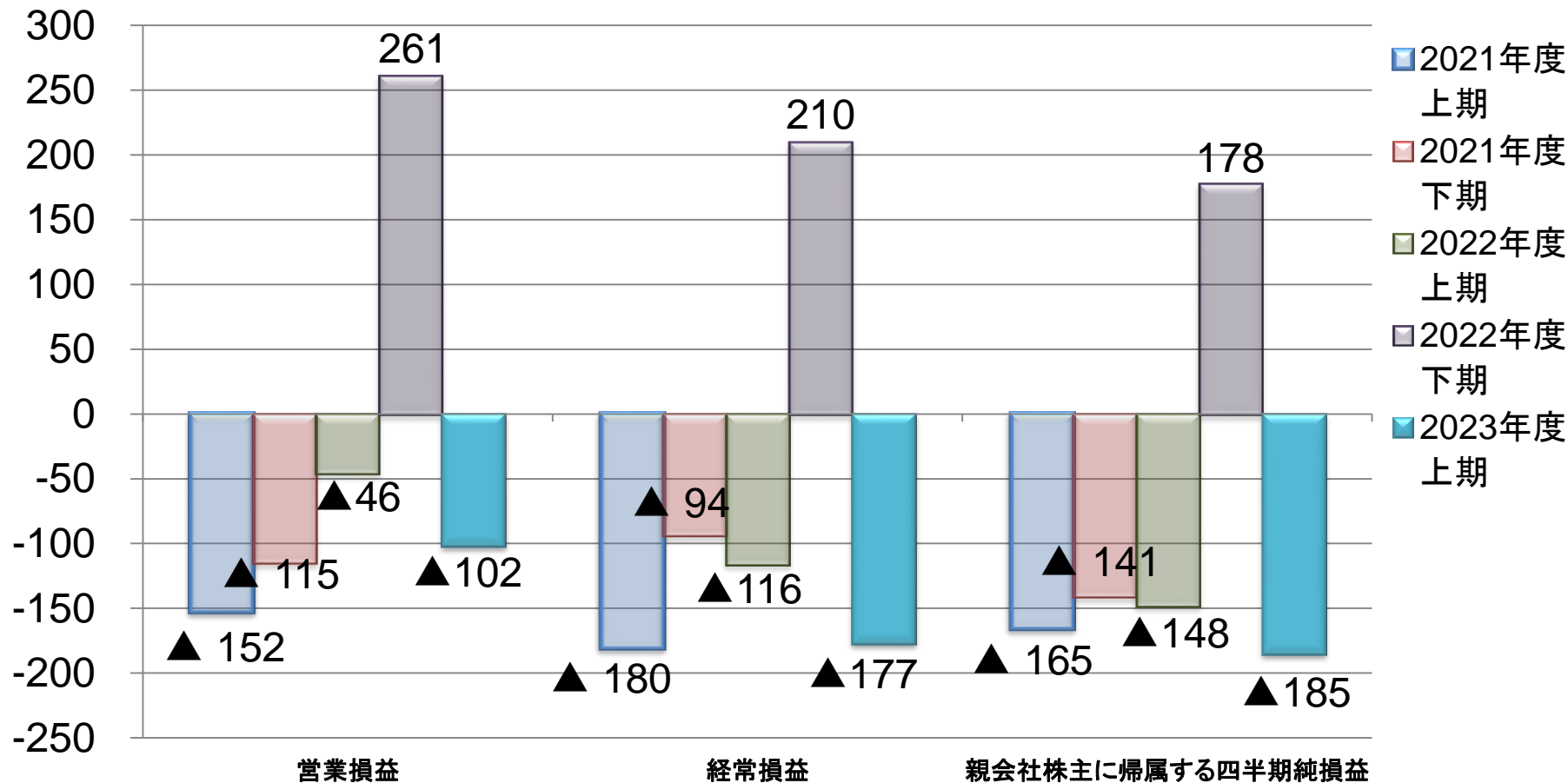


売上総利益率推移



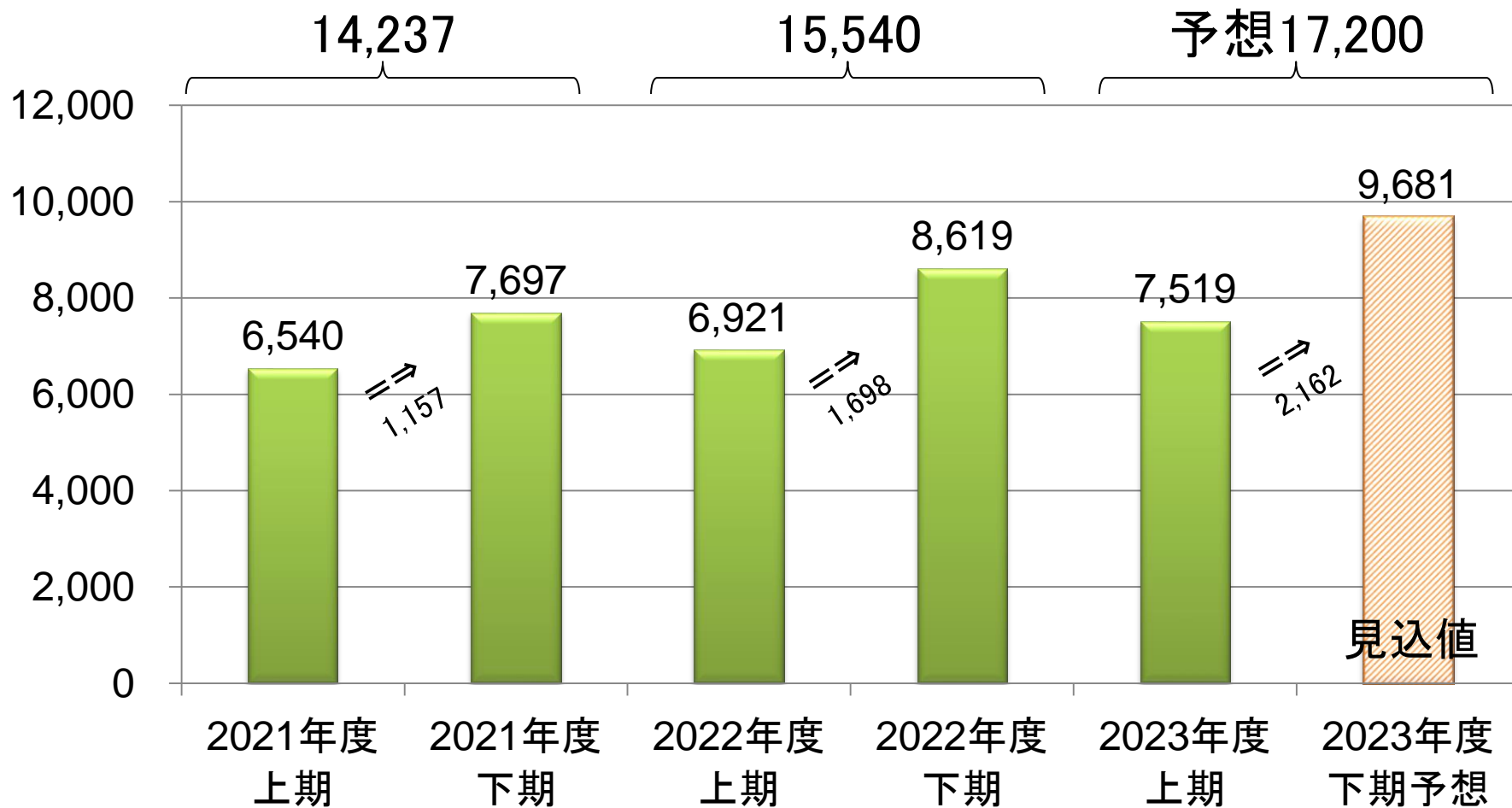
営業損益・経常損益・純損益 推移

単位: 百万円



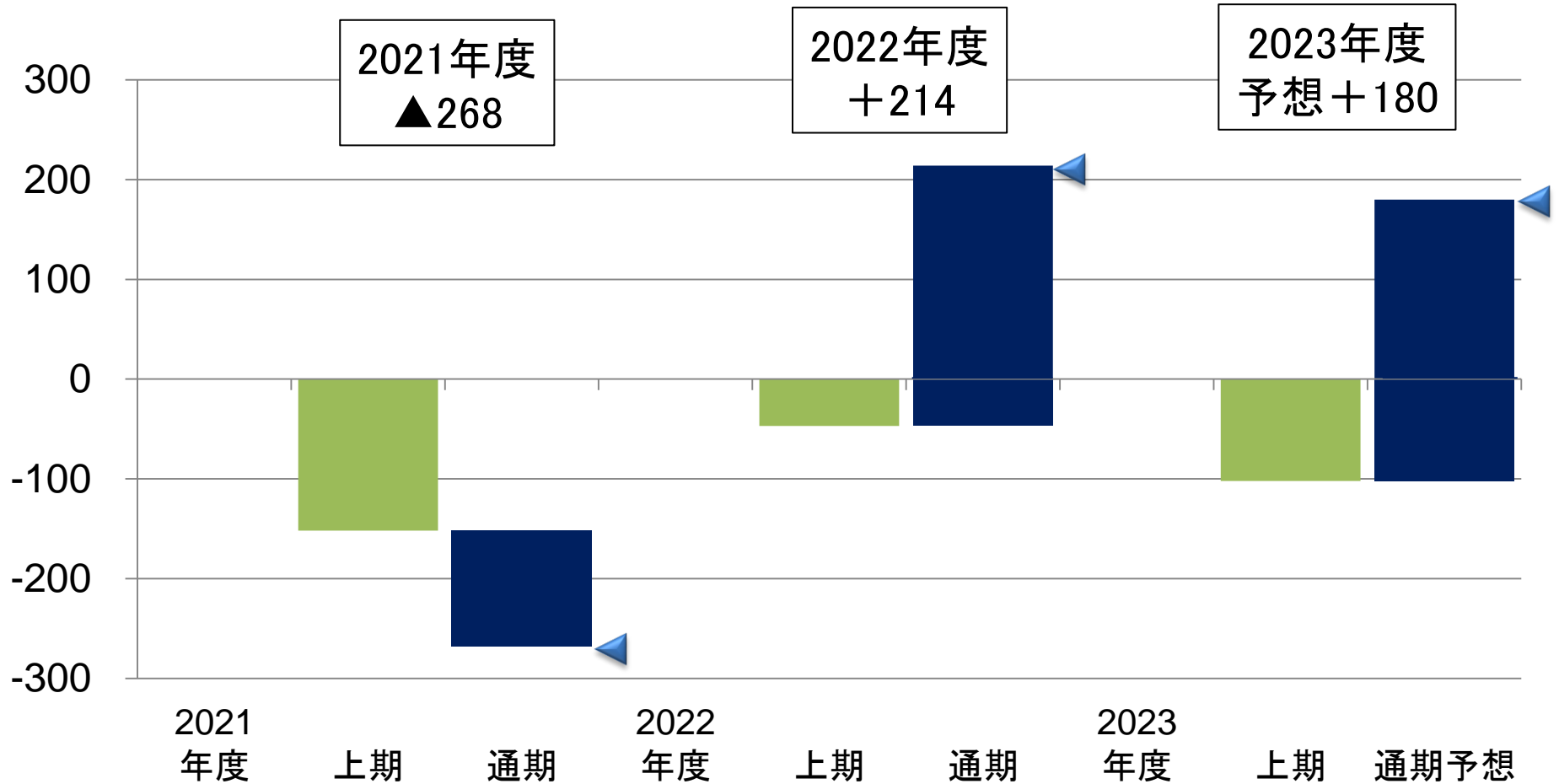
売上高推移と予想

単位: 百万円



通期 営業損益予想(連結)

単位:百万円

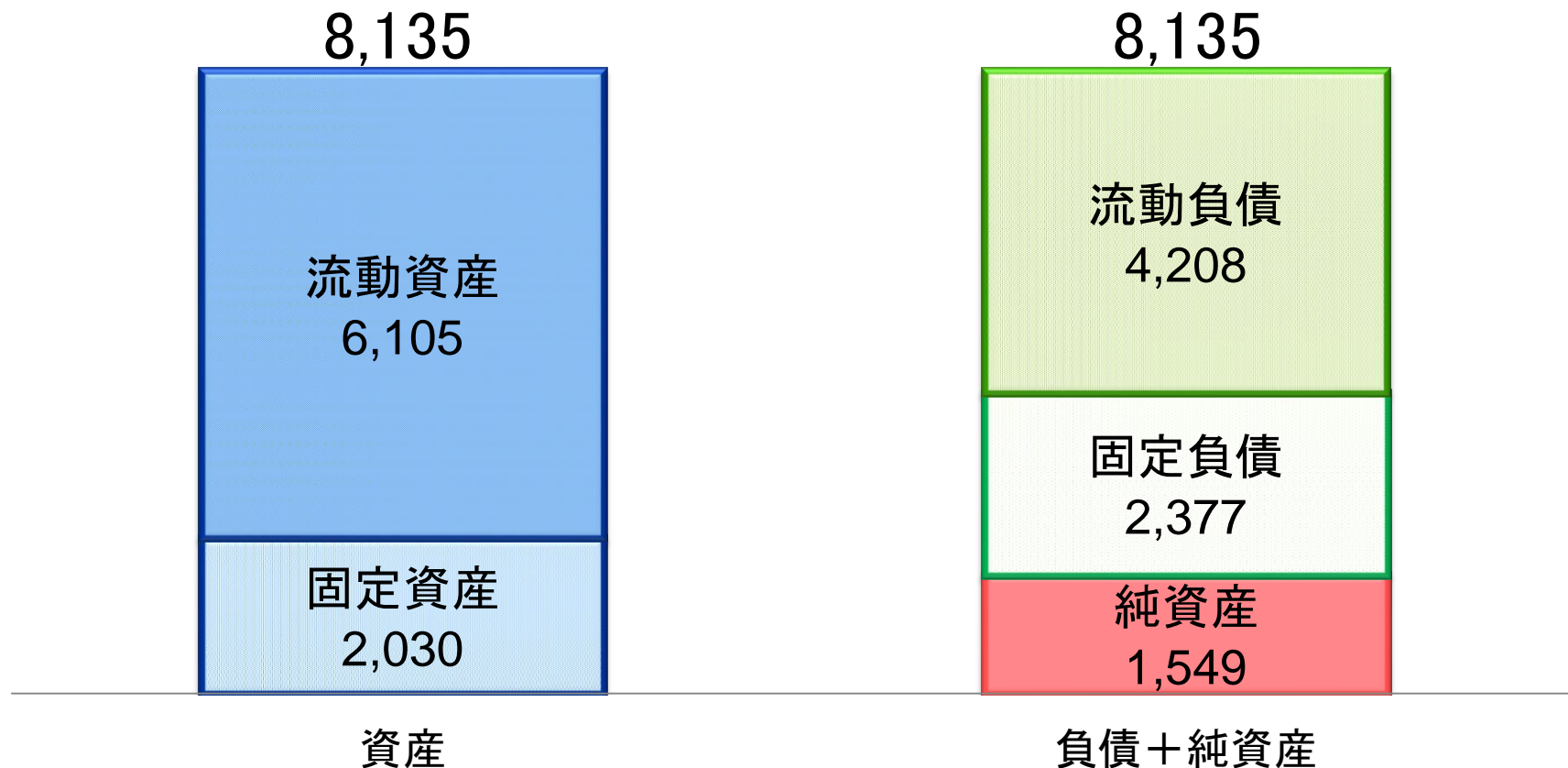


第2四半期累計期間 BS業績

単位:百万円

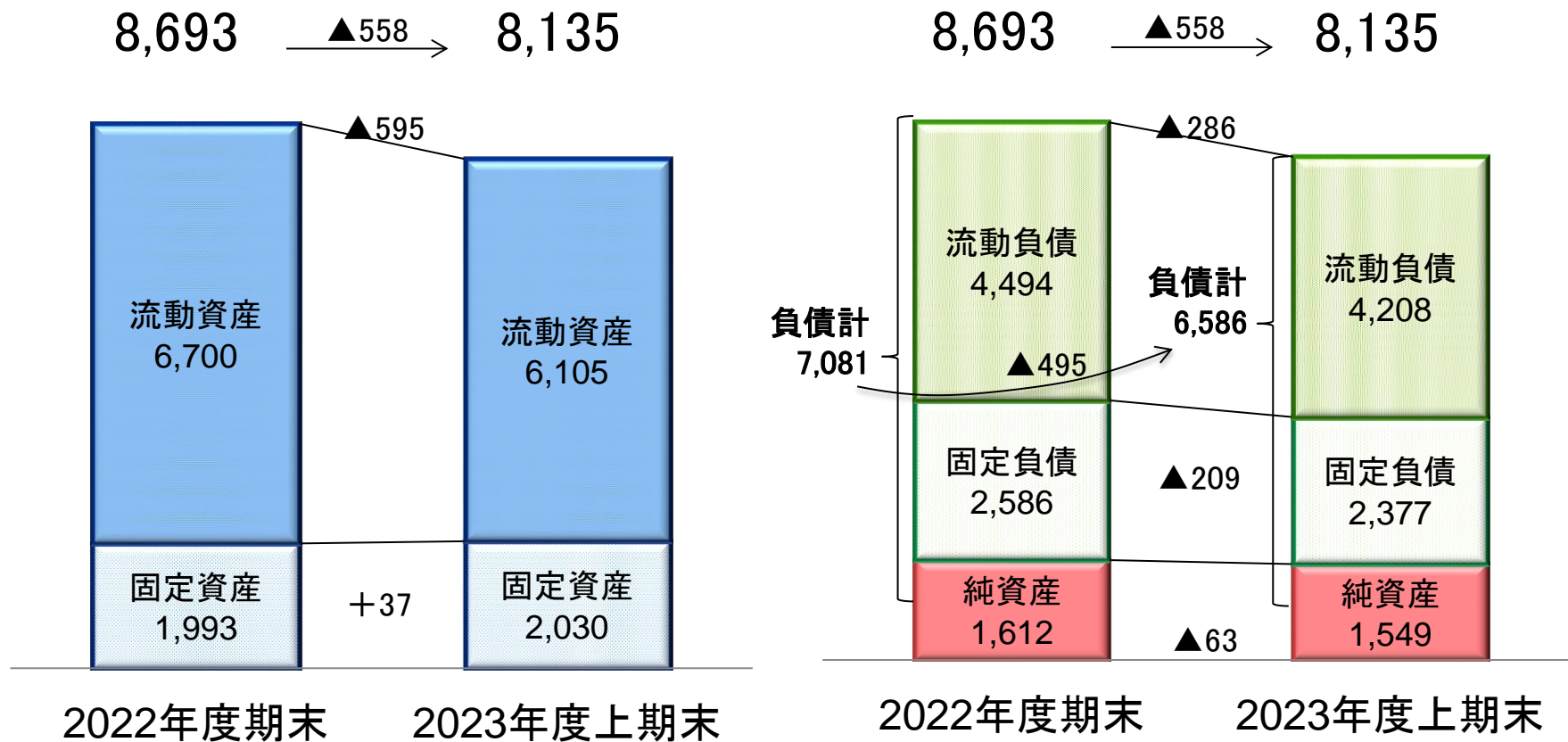
自己資本比率 19%

(前年度期末比 +0.5%)



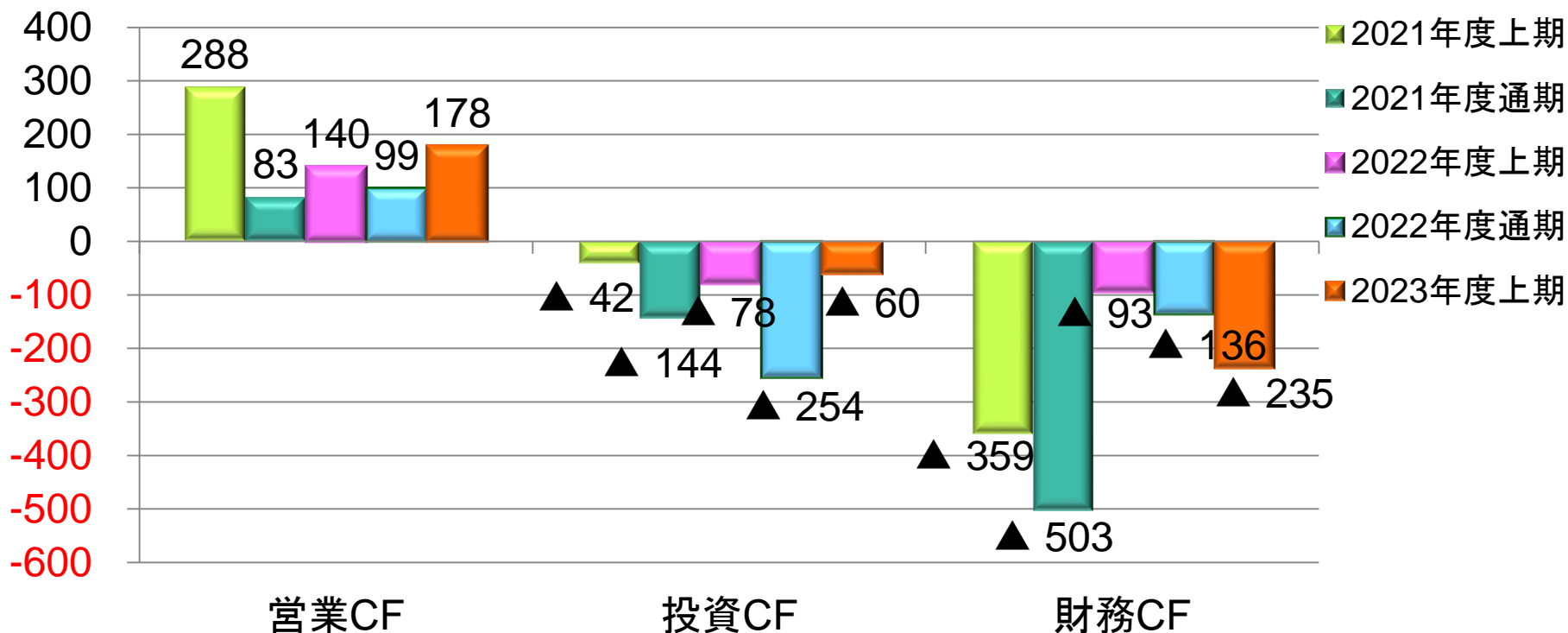
資産・負債・純資産

単位: 百万円



キャッシュフローの増減

単位: 百万円



現金 及び現金同等物の四半期末残高 --- 1,819

百年企業に向けて

百年企業に向けて

I : 構造改革

2009年、コンサルを入れて策案・発動
= 事業本部制への改編、資産売却

II : 新構造改革

2019年策案・発動 ⇒ 生産合理化・資産売却

III : 新々構造改革

現在推進中、2021年早々に開始
2021年11月に組織改編実行

“新々構造改革”の全体像

新々構造改革推進 タスクフォース(TF)

プロセス&スケジュール

- 21/02/15
全体TFキックオフ
- 21/07/5
大方針説明・最終計画決定
- 21/09/30
希望退職者募集
- 21/11/01
組織改編実行
- 22/10月～11月
(株) IATと資本業務提携
第三者割当増資受け入れ
- 23/04/01
新規事業開発部、EV事業部
新設
- 23/08/31
IAT AUTOMOBILEとMOU
締結
- 23/10月末
Japan Mobility Show 2023
出展

全体方針

人件費・経費圧縮

+

新成長戦略

=

収益力強化

各ユニット毎に
改革案を策定・実施

組織改編 ⇒ 経常利益極大化を目指す

管理本部

樹脂事業ユニット

営業部・川越工場

川越工場

テクセンター

SP・真空成型事業ユニット

埼玉ヤマト

物流機器事業ユニット

海外事業
ユニット

香港・高精密

B P C

Communication
&
Governance

統括と結果責任

生産販売一体化の実施

- 組織改編 事業ユニット制に移管
- 新基幹システム 導入（2023年10月稼働）



- 事業内容ごとの組織再編
（樹脂 / 物流機器 / SP・真空成型 / 海外）
- 生産管理・販売購買・原価計算のERPシステム化
- 社内売買取引の廃止



組織的・システムの
スマート化

- ✓ 独立採算制を徹底
- ✓ 原価・収益把握の効率化
- ✓ 経費圧縮・収益性改善を実現

新成長戦略

樹脂事業ユニット

営業部・川越工場

川越工場

テクセンター

SP・真空成形事業ユニット

埼玉ヤマト

物流機器事業ユニット

海外事業
ユニット

香港・高精度

B P C

各ユニットごとに

中長期的視点に立った経費削減と

成長戦略策を根幹とした

グランドデザインを作成

グランドデザインに沿って、現業の
維持拡大に加え、投資も含めた
積極的な中長期計画を策定・実行

新規事業の紹介

新規事業開発部



EV事業部

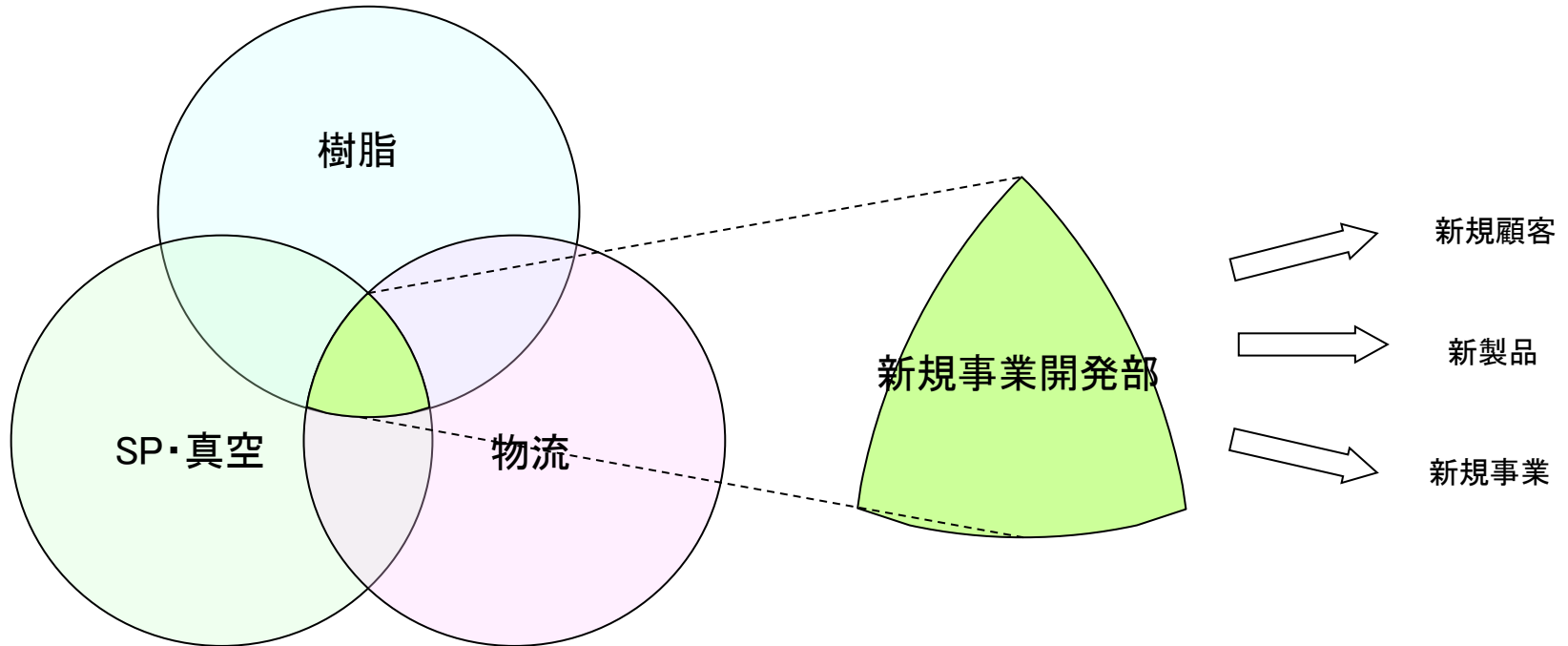


新規事業紹介－新規事業開発部

当社の既存事業に捉われず、全社横断的な新規顧客・新製品・新規事業の創出を推進する。

◆ 未来の利益の源泉となる新規事業の開発

【既存事業の強みを結集し、新たなビジネスを創造する】



新規事業紹介—新規事業開発部

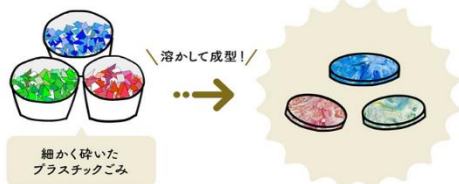
【モールドロック(小型卓上成型機)を活用した新ビジネスモデルの展開】

1. モールドロック専用金型、成型品の製造販売

コンカレントエンジニアリングによる小ロット・低コスト・高品質な製品を提供

2. 環境樹脂を使用したビジネスの展開

モールドロックは環境にやさしい樹脂も使用可能



リサイクル樹脂



バイオ樹脂



小型卓上成型機
(モールドロック)

【IATとの協働活動の推進】

EVを中心とした自動車部品の樹脂化



モールドロックを活用した製品事例

カメラ用精密部品



材質:PC
寸法:100×70×38



材質:PC
寸法:120×50×27



材質:PC
寸法:91×48×48

植物工場用部品



材質:PP
寸法:φ56×48×t1.5



材質:PP
寸法:34×34×42



材質:PP
寸法:φ90×10×t1.5~5.0

その他(建装材部品・環境配慮型製品)



材質:POM
寸法:116×20×7



材質:PC
寸法:50×30×30



材質:PC
寸法:96×43×12



小物入れ 材質:リサイクル材
寸法:100×70×20



ネイルチップ
材質:PLA(植物由来樹脂)
寸法:30×10



材質:PC
寸法:80×36×36



材質:POM
寸法:20×20×25



材質:POM
寸法:33×33×18



建装材部品 材質:AES
寸法:67×47×26

新規事業紹介-EV事業部

— 事業活動内容

1. 2022年10-11月：株式会社IATとの資本業務提携、第三者割当増資を実行し主要株主が移動。
 - 今後EVに係る新事業を推進(*)する為、パートナーとしてIATグループが最良であると判断。
*:背景等に付いては、第三者割当増資に係る東証開示資料等を御参照下さい。
2. 2023年8月：IAT Automobile Technologyとの業務協力に関するMOUを締結。
 - 増資引受先たる(株)IATの親会社であるIAT Auto.との提携・協力関係明確化の為締結したもので、今後の当社EV事業推進の方針を明確化。
3. 2023年10-11月：IATと共にJapan Mobility Showに出展。
 - EV商用バンを展示、当社の「日本の電動モビリティ文化を変えて行く」という思いと、小型トラックEV改造事業やリチウムイオン電池モジュール事業を推進する事をアピール。

新規事業紹介-EV事業部

— 事業活動内容

22年10月に発表した株式会社IATとの資本業務提携により、「環境負荷低減を実現できる新コンセプト自動車事業展開」、「リチウム電池モジュール開発事業」を軸に当社企業価値向上、及び、将来を見揃えた社会貢献実現に向けた事業活動を推進する。

事業活動内容

おおよその時間軸…諸般の事情で変動する可能性があります。

事業計画		2024年度	2025年度	2026年度
①商用EVバン販売事業	- 日本仕様車開発 - モニター導入 - 量販開始	→		
②小型トラックEV改造事業	- 試作車製作 - モニター導入 - 量販開始	→		
③リチウム電池モジュール開発事業	- モジュール試作開発 - モニター導入 - 量販開始	→		

- ・商用EVバン販売事業：日本仕様車開発完了後、24年度中にモニター導入予定(量販開始:25年度予定)
- ・小型EVトラック改造事業：24年4月 試作車製作完了後、5月大手客先にモニター導入予定。
- ・リチウム電池モジュール開発事業:モジュール試作開発後、24年9月ゴルフカートに搭載しモニター予定。

新規事業紹介-EV事業部 — ①商用EVバン販売事業

■事業内容:

「日本の電動モビリティ文化をヤマト・インダストリーが変えて行く」という決意のもと<JEMY>ブランドを新たに設立。(Japanese E-mobility Made by Yamato)。自動車の新規開発・量産とは異なるアプローチで日本の電動モビリティ事業分野に参入する。

・2023年10月26日から東京ビッグサイトで開催された「JAPAN MOBILITY SHOW 2023 (ジャパンモビリティショー)」に <JEMY>ブランド第一弾として、環境負荷低減を実現する新コンセプト車・EVウォークインスルー/ハイルフバン“JEMY EV48”を発表。

・24年度内に日本市場仕様車を開発。主に物流企業をターゲットとしB2Bで販売展開予定。



- ・ 本年中国商用EVトップ賞受賞(cv world.cn)した中国金瓏汽車のEV物流車両をベースに新たに日本市場向けにハイルフモデルを開発。
- ・ ヤマト・インダストリーは、創業以来長きにわたり、樹脂部品/物流機器の製造販売事業を通じ、日本の物流業界とも密接な繋がりを持つ。
- ・ 日本の物流業界向けにラストワンマイル配送領域での電動化加速、脱炭素化への貢献を目指す。

JEMY EV48 ～設計コンセプト：

JEMY EV48



・窓枠無のスムーズなデザイン設計。
“走る看板”として、
ユーザーの自由なグラフィック表現可。

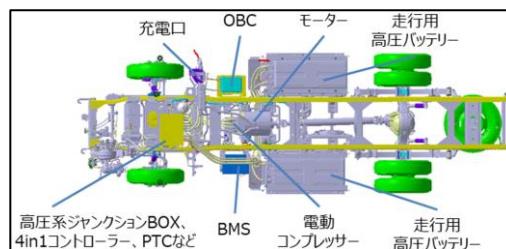
・室内高：1800mmのハイルーフ、フラット床仕様。
ウォークスルー/オペレーションの
実現によるドライバー負荷を軽減。

・助手席側 Bピラーレス構造、
大開口スライドドア仕様。
荷下ろし時の負荷を大幅に軽減。長尺
貨物も側面からの積下しが可能。

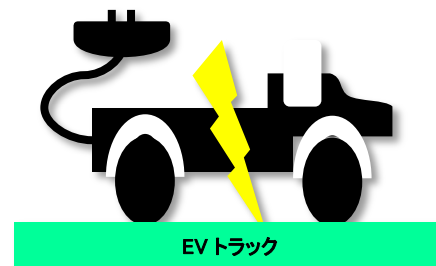
新規事業紹介-EV事業部

②小型トラックEV改造事業

- ・ 市場に大量に残存するディーゼルエンジン搭載トラックのEV改造事業。
- ・ 高額な新車EVトラックは運送事業者の負担が大きく、「EV新車への買替えとは別の選択肢」を提供することで運送事業分野のグリーン化に寄与するもの。
- ・ 既に中国で開発実績のある小型トラック改造コンポーネントを導入。日本で販売された小型トラック向けに新たに設計を加えEV改造を実現する。
- ・ 本事業は自社修理工場を保有する運送業者への改造コンポーネント販売／取付指導も視野に入れる。



改造



■ 事業内容:

- 中国大手電池メーカーより自動車用バッテリーセル供給を受け、日本でヤマトがリチウム電池モジュールのパック化を行う事業。電池モジュールはゴルフカート用、アウトドア／非常電源用として販売する計画。
 - 鉛バッテリーは短寿命／メンテ性（液補充）／ライフコスト（バッテリー交換）の欠点があり、安価かつ長寿命のリチウムイオン電池モジュールへの置換を促進する。
 - 本年度中にゴルフカート用電池モジュールを試作。トライアルを行い、顧客候補先でのモニターを実施し需要につなげる。
- 24年下期より新事業としてバッテリーパック事業への進出を図り、数年内に1万セットの需要取り込みを目指す。
- ヤマトはIAT Auto.を通じて高品質かつコスト競争力の有る電池セルを調達し、電池モジュール内で使用されるプラスチック部品を内製する事で工場稼働率の向上を図るなどシナジーを狙う。

バッテリーモジュール
(イメージ図)

